

ビジョン「見える化」の意見照会に対するご回答と対応

所属機関	意見分類	分野	姿	項目	内容	意見に対する対応
1 湖南ブロック介護支援 専門員連絡協議会	指標追加	Ⅲ	医	②	退院時の病院と介護支援専門員との情報連携率	指標として追加します
2 湖南ブロック介護支援 専門員連絡協議会	指標追加	Ⅲ	医	②	(受診)通院時の病院と介護支援専門員との情報連携率(2021年新加算から)	指標として追加します
3 湖南ブロック介護支援 専門員連絡協議会	指標追加	Ⅲ	医	③	居宅介護支援について、適切なケアマネジメントの実施を確保しつつ、経営の安定化を図る観点から、介護支援専門員1人当たりの取扱件数の見える化(通減制の見直しから)	ご指摘の「介護支援専門員1人当たりの取扱件数」については、ケアマネのサービスの質に大きく関わるものであるため、指標として追加し、数値の取り方について検討します。
4 湖南ブロック介護支援 専門員連絡協議会	指標意見	Ⅲ	医	③	「高齢者生活支援施設を併設するサービス付き高齢者向け住宅の整備割合」について、 ・既存の上記指標は「囲い込み」の助長にもつながる恐れがある。代替指標としては、(追加)サービス付き高齢者向け住宅の、各市毎、または圏域の整備量と入居率(追加)サービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホームの要支援・要介護認定者利用(入居)率	・ご提案の一つ目は新たな指標として以下のとおり追加 「サービス付き高齢者向け住宅の圏域の整備量と入居率」(バックデータとしては各市ごとのものを把握します) ・二つ目の「サービス付き高齢者向け住宅、住宅型有料老人ホームの要支援・要介護認定者利用(入居)率」は、こうした施設が要支援・要介護者の受け皿になることは是非に関するコンセンサスが圏域でとれていないと判断し、議論がなされるまで保留とします。
5 県立精神医療センター	指標意見	Ⅲ	住	③	・「在宅死亡数」について定義が必要。在宅みとりの促進は今風でよいことも。一方で孤独死はよくないこと。どっちの指標か。	「本人が望む形で人生の最期を迎えることができる」という分野目標に関連した指標として設定しましたが、ご指摘のとおり「在宅死亡数」が増えることは必ずしも望んだ形で死を迎えることができた方が増えたことを意味しないため、当該項目からは削除します。分野目標の指標として、「自宅での最期を望んだ方の内、在宅で死亡した方」といった指標が設定できないか検討します。
6 草津市	指標追加	Ⅱ	地	③	・びわこあさがおネットの普及の視点も必要と思う	びわこあさがおネットはあくまで手段であるため、今回の見える化の指標としては設定しない方向で考えております。 ご意見を受けて、当該項目の指標として「医療機関の間での情報共有がうまくできていると答える医療機関の割合」といったものが設定できないか検討します。
7 守山市	指標追加	I	住	①	メタボ該当者、予備軍の割合	ご提案の指標については、目指す住民の姿の指標として挙げている「適正体重を維持している人の増加」と共通するものであるため、新たに指標としては追加しません。
8 守山市	指標追加	I	地	②	被扶養者に対する保健指導や健(検)診事後フォローの実施割合 (被扶養者に対する保健指導等の実施割合など、国保以外の加入者で従業員以外の者に対してのフォローを加え、病気予防につなげる。)	指標として追加します
9 守山市	指標追加	I	医	③	あさがおネットの利用割合	びわこあさがおネットはあくまで手段であるため、今回の見える化の指標としては設定しない方向で考えております。 ご意見を受けて、当該項目の指標として「医療機関の間での情報共有がうまくできていると答える医療機関の割合」といったものが設定できないか検討します。
10 守山市	指標追加	Ⅱ	医	不明	医療福祉の姿に電子お薬手帳が使える薬局の割合も入れてないと、環境整備の評価ができないのでは？	「電子お薬手帳の普及割合」は滋賀県保健医療計画に記載された指標であるため素案では記載しておりましたが、あさがおネットと同様電子お薬手帳は手段の一つであるため、指標としては不適切と判断し、掲載については再考します。
11 守山市	指標意見	I	地	②	「情報発信を行う企業数」という書き方だと、情報発信さえすればよいように見えるが、「健康経営や健康づくりの活動に自発的に取り組む企業数」にしてはどうか。	当該指標は、「健康いきいき21(第2次)」に掲載の指標であり、出典は「健康づくりサポーター・健康資源(企業・団体)・受動喫煙ゼロの店・外食栄養成分表示店」の総数となっています。県計画との記載の整合を図りたいとは思っておりますが、ご意見については検討させていただきます。
12 守山市	指標意見	Ⅲ	地	①	・認知症キャラバンメイトの養成講座については、全国キャラバンメイト連絡会から抑制がかかけられている状況であり、メイト数よりもサポーター数にした方が良いのではないかと。	ご意見のとおり修正します。
13 守山市	質疑	I	住	①	「12歳児の一人平均虫歯数」は地域、医療福祉のどの部分で達成するのか。住民が自発的に頑張るのみか。	当該指標は住民の目指す姿の一つとして挙げられていますが、ご指摘のとおり達成のためには住民の努力だけでなく、それを支援する地域や医療福祉の取組も必要となります。他の指標についても同様ですが、目指す姿の「主体」は、必ずしも取組の「主体」ではなく、それぞれの主体からの働きかけによって、ある「主体」が目指す姿に近づくという考え方になります。
14 守山市	質疑	I	地	①	「健康づくりを目的とした活動に主体的に関わっている団体の割合」について、団体の割合の分母は何か。	当該指標は「健康いきいき21(第2次)」に掲載の指標であり、出典は「介護予防につながる取組を実施する団体数、食育の推進に関わるボランティア数」となっており、割合ではなく団体数の増加を目標としているものです。ご指摘のように誤解を招くことから、「団体数」という表記へ修正します。